

## ● 使用材料・使用器具

## 使用材料

キクスイ	15kg/缶
プライマースーパーE	
グラナダ弾性	20kg/缶
専用骨材3厘	20kg/紙袋
塗料用シンナー	

## 使用器具

計量	秤
下塗り	エアレススプレー等
基層塗り	リシガン
模様塗り	スタッコガン
模様付け	押えローラー

## ● 標準施工仕様

(23°C、50%RH)

工程	使用材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗り 回数	工程間隔時間(hr)		備考
					工程内	工程間	
下塗り	キクスイ プライマースーパーE	15kg 無希釈	0.1~0.19	1		3以上	エアレススプレー等
基層塗り	グラナダ弾性	20kg	0.8~1.0	1	—	6以上	リシガン 口径:4~6mm 吹圧:0.5~0.6MPa
	清水	1~2kg					
模様塗り	グラナダ弾性	20kg	3.0~3.5	1	—		スタッコガン 口径:8~10mm 吹圧:0.5~0.6MPa
	専用骨材3厘	10kg					
	清水	0.4~0.8kg					
パターン 付け	材料を大玉模様吹き放し後、塗シンを付けた押えローラーで凸部を押えて、パターン付けする。						追っかけ 模様付け
養生撤去	養生シートなどの撤去を行う。						直後又は 乾燥後
最終養生	施工後、降雨の恐れのある場合は適切な保護養生をする。					24以上	

## ● 標準施工要領

## 1. 下塗り

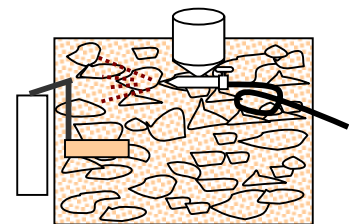
- ①下塗材は、下地の状況に合わせて、適切な下塗材を選定する。
- ②下塗りは、下地の吸い込みとそのばらつきを防ぐため、だれ、塗り残しのないように均一に塗り付ける。コーナー部など入隅、出隅は特に入念に塗付する。

## 2. 基層塗り

- ①開缶後缶壁に付着した主材を缶内に落とし、一度均一にまぜる。
- ②主材に、指定量内の清水を加えハンドミキサーなどで均一に混合し、定められた模様になるように粘度を調整する。計量は秤や定量ヒシヤクなどを使用する。
- ③基層塗りは、下地がスケないようにリシガンで吹き付ける。

## 3. 模様塗り

- ①主材は定められた仕上りになるように指定された骨材と清水を加え、ハンドミキサーなどで均一に混合する。なお、計量は秤などを使用し、希釈水量はあらかじめ試し塗りして決める。
- ②模様塗りは仕様にあった施工用具を使用し、指定された所要量を大玉吹き放し調に吹き付ける。
- ③希釈、ガンの口径、吹き付け圧などの条件設定で、ベタにならないように吹く。



## 4. パターン付け

- ①押えのパターン付けは、模様塗り後、追っかけで行う。
- ②塗シンを付けた押えローラーで、押えムラをつくらないようにバランス良く作業する。
- ③押えローラーは絶えず清浄にして、塗シンを付けて使用する。

## 5. 養生撤去他

- ①養生の撤去は、施工終了後直ちに行う。すぐにできない場合は、材料が完全に乾燥した後、慎重に行うこととする。
- ②外部施工で、施工後、降雨の恐れのある場合は適切な保護養生をする。
- ③足場つなぎ部のタッチアップ補修を行う。